

行政視察報告書

会派「彩り」に同行し行政視察を行いましたのでその調査結果について、下記のとおり報告いたします。

平成 29 年 7 月 26 日

光市議会議長 中村 賢道 様

森重 明美

7 月 11 日（火）徳島県神山町

- 「神山のまちづくりや創造的過疎について」の講演（NPO グリンバレー）
理事長
- サテライトオフィスツアー

神山町は、移住支援対策や地域内経済循環による地方創生型モデルとして脚光を浴びるまちである。2004 年に町内全域に光ファイバー網を整備したことをきっかけに“IT のまち”として知られサテライトオフィスの誘致など先進的な移住支援を軸に、創造的なまちづくりを行っている。そのまちづくりの中心となるのが NPO グリンバレーであり、理事長・大南信也氏の視察対応のセミナーを拝聴する事で、神山町のまちづくりの理念を肌身を感じる事ができた。これが「現地を訪れて観る」という視察の真髄でもある。中山間地域に位置する神山町は他の地域と同じく過疎化・少子高齢化が進んでおり、高齢化率は 47%。地方における課題は「若者が故郷に帰れない・移住者を呼べない・後継人材が育たない」という現実だ。神山町はその現実を直視し、ではどうすればよいのかという「創造的過疎から考える地方の創生」を見事にプロジェクト化した。創造的過疎とは（減少は止められないがその中身を変える）（人口構成の健全化を図る）（多様な働き方が可能なビジネスの場を創る）であり、農林業だけに頼らないバランスのとれた持続可能な地域をつくろうという考え方に基づき「日本の田舎をステキに変える」を合言葉にアーティスト・インレジデンスや神山塾・サテライトオフィスなどにも取り組み、若者が注目する「人をコンテンツ」にした「クリエイティブな田舎づくり」をかたちにしてきた。

（移住者数 2010 年から 3 年間で 58 世帯 105 名（子ども 27 名）平均年齢は 30 歳前後）そこには雇用の場が少ない過疎地では求職者支援よりも、若者の小さなビジネスづくりの支援、いわゆる起業者支援の強化・充実に重きを置く指標がある。まちの将来に必要な「働き手」「企業家」を逆指名して支援するワークインレジデンスな

ど、何かをしてみたいという若者は、きっと問題だらけだが、何かワクワクする可能性を感じられるまちとして自分の将来をこのまちに賭けてみたいと思うのではないだろうか。そのような空気がある事を肌身で感じ得る視察となった。サテライトオフィスツアーや神山プロジェクトから見えてきたものの一つに地方創生のポイントは「地域に何があるかではなく、そこにどんな人が集まるか！」今後の光市のまちづくりの展開にも重要な視点である。



7月12日（水）徳島県上勝町

- ゼロ・ウエスト（ごみゼロ）の取組
- 有償ボランティアタクシーについて

ゼロ・ウエスト（ごみゼロ）の取組み

上勝町は日本で初めてゼロ・ウエスト宣言をしたまちである。人口1600人のまちを上げてゴミ・ゼロウエストに取り組む上勝町は、45品目の分別を実施。生ごみは殆どたい肥化する。高齢者宅のごみ運搬処理作業も2か月に1度訪問して行うなど、顔の見える見守り体制も推進力につなげている。ごみ処理費570万円のうち売却処理は250万円、残り320万円が実質的なごみ処理費であるが、

売却費は基金としてストックされており、住民に還元される仕組みになっている。生ごみ処理機などの補助金 1 万円も活用されほとんどの家庭がたい肥処理をし、800 世帯のうち約 600 世帯が畑や庭で対処をしている。光市においては、消却分類を一部増やす取り組みも始まったが、たい肥活用がまち全体で可能な上勝町ならではの取組といえる。ごみ・ウエストの拠点となる「ごみステーション」には、必要な人が自由に持ち帰れる「くるくるショップ」や隣接する介護予防活動センター内に不要になったものを活用しての「くるくる工房」なるリメイクショップもあり高齢者の生きがいつくりの場として相乗効果をもたらし、様々な工夫をプラスしてゴミ・ゼロを目指している。



有償ボランティアタクシーについて

この度の視察では、実際に他の交通移動手段がないことから、移動道中、このボランティアタクシーを実際に活用。平成 15 年の導入当初は交通網のない地域の手段として、構造改革特区の自家用車有償旅客運送でスタートしたが、現在では過疎地域有償運送の扱いで運用されている。主に通院、買い物などの生活支援対策を充実させることで住民へのサービス向上を目指す。まち全体で支えあう仕組みづくりが伺える。光市においては、公共交通網の民間活用が可能なため過疎地域有償運送の形はとれないが、今後の高齢社会や過疎の問題から生活支援

の重要な課題としてなんだかの手立てを早急に打つ必要がある。運送の対価はタクシーのおおむね半額。料金1キロ当たり百円。待ち時間10分あたり百円など細やかな料金設定を持つ。運転手は常対応可能6～7人。事務局はNPOゼロ・ウエスト3人でつなぎ作業を対応。